取水施設(取水井戸・集水埋渠)の検討・設計

取水施設の問題点

1970年代から、河川を水源とする地下水の取水施設(取水井戸・集水埋渠等)が数多く整備されてきました。これらの施設の多くが更新の時期を迎え、水質や取水量などに問題が生じるケースがみられます。日水コンでは、このような問題を解決する「取水施設の検討・設計」をご提案します。

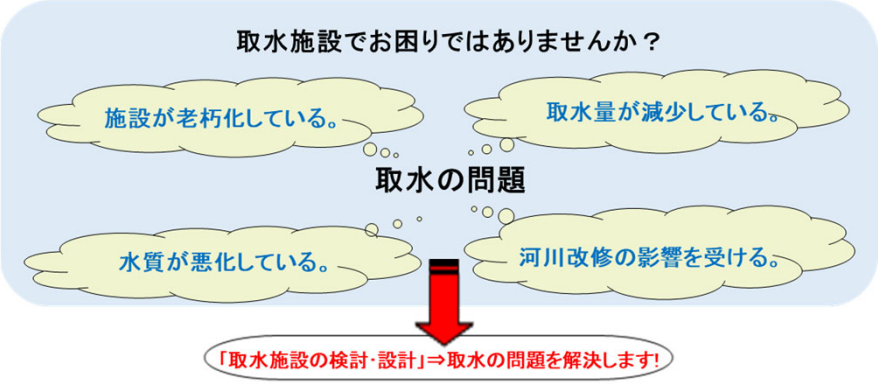

図1　取水施設の問題点

問題点解決へのアプローチ

各種調査により取水施設の現状を適切に把握し、問題点の原因を特定します。また、調査結果を踏まえた基本設計を行い、問題点の解決策を見出し、最も効率的で効果的な取水施設の更新方法を決定します。図2に「取水施設の検討・設計」のフローを示します。

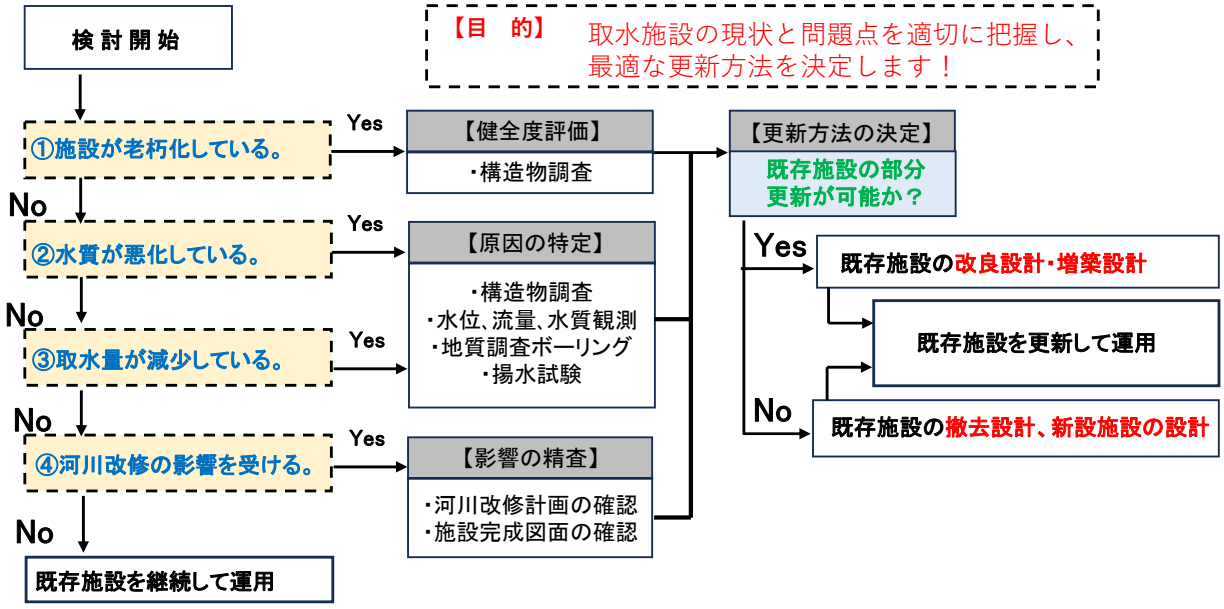

図2 「取水施設の検討・設計」フロー

「取水施設の検討・設計」のポイント

ポイント1 ：部門間の協同

「取水施設の検討・設計」では、水道、機電及び河川の専門技術が必要です。当社では、各部門のエンジニアが業務を担当し、営業部門と協同してお客さまのご要望にお応えする体制を整えております。また、業務内容（取水ポンプ棟を含む場合等）に応じ、建築部門等のエンジニアとも業務を協同いたします。

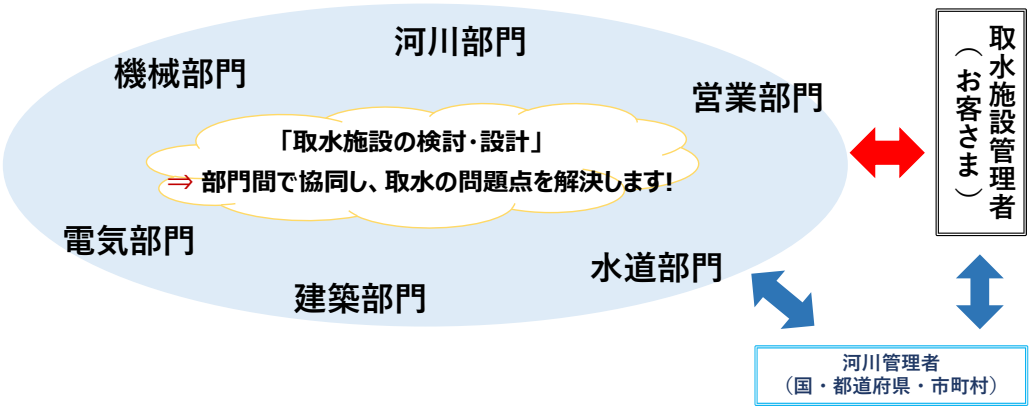

図3　部門間の共同イメージ

ポイント2 ：河川管理者への対応

昨今、気候変動に伴う大規模な洪水が多発しています。取水施設（取水井戸・集水埋渠等）が河川を水源としている場合は、河川管理者（国・都道府県・市町村）への対応がキーポイントになります。

当社では河川部門のエンジニアが必要に応じて河川管理者との協議・調整を代行するなど、お客さまをサポートする体制を整えています。また、検討・設計に必要な河川資料の収集整理、河川改修の進捗状況やスケジュールの確認、河川に関する法令（河川管理施設等構造令）への適合性等を検討します。

業務実績

当社では、豊富な業務実績やノウハウをもとに、お客さまのご要望にお応えします。
地下水の取水だけでなく「表流水の取水（取水堰）」や、役割を終えた「既存取水施設の撤去」の業務も複数手掛けています。

受注年度	発注者	業務名称
2024	広島県呉市	二級水源地取水施設検討業務
2023	広島県福山市	中津原浄水場取水設備取替詳細設計業務委託
2023	長崎県石木ダム建設事務所	石木ダム資料作成業務委託（1）
2022	和歌山県	紀の川取水施設更新実施設計その2業務

潤いある未来へ
株式会社 日水コン

お問合せ先　コンサルティング本部 流域水管理事業部
本社　〒163-1122 東京都新宿区西新宿6-22-1（新宿スクエアタワー）
TEL. 03-5323-6460　E-mail. nsc_kasen@nissuicon.co.jp

20250401